

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2014-516875

(P2014-516875A)

(43) 公表日 平成26年7月17日 (2014.7.17)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 25/46 (2006.01)	B 6 5 D 25/46	3 E 0 1 4
B 0 5 B 15/06 (2006.01)	B 0 5 B 15/06	3 E 0 6 2
A 4 7 K 5/12 (2006.01)	A 4 7 K 5/12	B 4 D 0 7 3
B 6 5 D 83/00 (2006.01)	B 6 5 D 83/00	G

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2014-501146 (P2014-501146)
(86) (22) 出願日 平成24年3月14日 (2012.3.14)
(85) 翻訳文提出日 平成25年11月15日 (2013.11.15)
(86) 国際出願番号 PCT/US2012/029047
(87) 国際公開番号 W02012/129023
(87) 国際公開日 平成24年9月27日 (2012.9.27)
(31) 優先権主張番号 13/051,385
(32) 優先日 平成23年3月18日 (2011.3.18)
(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 506190555
ゴジョ・インダストリーズ・インコーポレ
イテッド
アメリカ合衆国オハイオ州44311, ア
クロン, スート500, ワン・ゴジョ・ブ
ラザ
(74) 代理人 100077861
弁理士 朝倉 勝三
(72) 発明者 アーチャー マッシュー
アメリカ合衆国 オハイオ 44202
オーロラ ノース・パーク・ドライブ 1
66
Fターム (参考) 3E014 PA01 PB03 PC12 PD11 PE16
PF10

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 壁取り付け型又はカウンタートップ取り付け型の分与器

(57) 【要約】

壁又はカウンタートップに取り付けることができる分与器は、フィン形状を有するハウジングを包含する。前記ハウジングは、前カバー及び後カバーを包含する。前記前カバー及び前記後カバーは、前記フィン形状の前面及び後面を画定する。本分与器はノズルアセンブリを包含し、分与器の形状が前記ノズルアセンブリ及び前記フィン形状の前記後面の近くに分与区域を形成する。

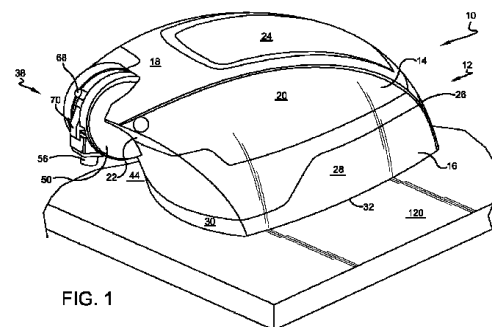


FIG. 1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

垂直取り付けの配向ではほぼ垂直な表面に選択的に取り付けられ、又は水平取り付けの配向ではほぼ水平な表面に選択的に取り付けられる基部を有するハウジングであって、アンダーカットを画定するハウジングと、

前記ハウジングに前記アンダーカットで取り付けられている回転可能な分与ノズルアセンブリであって、前記水平取り付けの配向と関連付けられる第 1 の位置と前記垂直取り付けの配向と関連付けられる第 2 の位置との間で選択的に回転させられ、前記第 1 の位置では、前記分与ノズルが前記ほぼ水平な表面に向けて製品を分与するように向けられ、前記アンダーカットが前記分与ノズルと前記ほぼ水平な表面との間に少なくとも指を受け入れるのに十分な指受け入れ区域を提供する回転可能な分与ノズルアセンブリと、
を包含する分与器。

10

【請求項 2】

前記基部が前記垂直取り付けの配向で取り付けられ、前記回転可能な分与ノズルアセンブリが前記第 2 の位置に回転させられたときに、前記分与ノズルが製品を前記ハウジングの下方に分与するよう位置決めされる、請求項 1 記載の分与器。

【請求項 3】

前記ハウジングが、前カバー及び後カバーと、前記前カバー及び前記後カバーによって画定されている前面及び後面とを包含している、請求項 1 記載の分与器。

【請求項 4】

前記前カバーが前面及び底面を包含すると共に、前記後カバーが上面及び底面を包含し、前記前カバーの前記前面と前記後カバーの前記上面とが当接して前記ハウジングの前記前面を形成すると共に、前記前カバーの前記底面と前記後カバーの前記底面とが当接して前記ハウジングの前記後面を形成する、請求項 3 記載の分与器。

20

【請求項 5】

前記後カバーが前記上面に近接する第 1 の端と前記底面に近接する第 2 の端との間で長手方向に延在し、直交方向が前記長手方向からほぼ直角に延在し、前記ノズルアセンブリが前記第 2 の端を越えて長手方向に位置決めされていると共に前記直交方向に前記第 2 の端から離間されている、請求項 4 記載の分与器。

【請求項 6】

前記ノズルアセンブリがピボット及びノズルを包含している、請求項 5 記載の分与器。

30

【請求項 7】

前記ピボットが第 1 の周壁部分及び第 2 の周壁部分を包含し、前記ノズルが前記第 1 及び第 2 の周壁部分のうちの 1 つによって担持されている、請求項 6 記載の分与器。

【請求項 8】

前記ピボットが、更に、前記第 1 及び第 2 の周壁部分のうちの 1 つから延在する突起を包含している、請求項 7 記載の分与器。

【請求項 9】

前記ノズルアセンブリが更にハウジングを包含し、前記ノズルアセンブリの前記ハウジングが周方向に延在するスロットを包含している、請求項 7 記載の分与器。

40

【請求項 10】

前記ピボットが突起を包含し、前記ノズル及び前記突起が前記スロットを通して延在している、請求項 10 記載の分与器。

【請求項 11】

前記周方向に延在するスロットが幅狭部分及び幅広部分を包含している、請求項 10 記載の分与器。

【請求項 12】

前記周方向に延在するスロットが更に肩部を包含し、前記周方向に延在するスロットが前記肩部で前記幅狭部分から前記幅広部分へと開口している、請求項 11 記載の分与器。

【請求項 13】

50

前記周方向に延在するスロットが第１の端と第２の端との間に延在し、前記突起が前記第１の端と前記第２の端との間の区域内で移動可能である、請求項１記載の分与器。

【請求項１４】

ほぼ水平の配向又はほぼ垂直の配向で取り付けることができる分与器であって、第１の位置又は第２の位置に位置決めされるようにされた回転可能な分与ノズルアセンブリを包含し、前記第１の位置が前記ほぼ水平の配向と関連付けられ、また前記第２の位置が前記ほぼ垂直の配向と関連付けられている分与器。

【請求項１５】

更に、詰め替えユニットを包含し、同一の前記リフィルユニットが前記ほぼ水平の配向及び前記ほぼ垂直の配向に用いられる、請求項１４記載の分与器。

10

【請求項１６】

前記分与器がほぼフィンの形状とされている、請求項１４記載の分与器。

【請求項１７】

更に、平坦な周縁を包含し、前記分与ノズルアセンブリが前記周縁を長手方向に超えかつ直交方向に前記周縁から離間して位置決めされている、請求項１４記載の分与器。

【請求項１８】

更に、平坦な周縁を包含し、前記周縁によって設置区域が画定されている、請求項１４記載の分与器。

【請求項１９】

前記分与器が前記設置区域の外側に分与区域を画定している、請求項１４記載の分与器。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、２つ以上の配向で取り付けることができる分与器に関する。特別の実施形態において、本発明の分与器は、カウンタートップに取り付けられる配向で、又は壁に取り付けられる配向で選択的に取り付けられ、いずれの配向においても、製品をほぼ許容できかつ意図した方向へ下向きに分与する。

【背景技術】

【０００２】

種々の分与器が知られており、液体又は泡を問わず、ローション、石鹸及び殺菌剤といった流体を分与するために使用されている。壁取り付け型の分与器は、分与器の一般的な形態である。これらの分与器は、一般的に、分与される製品を保持する詰め替えユニットを受け入れるようにしている分与器ハウジングを包含する。詰め替えユニットは、バッグやボトルといった、製品を収容している容器を包含し、ポンプがこの容器と連通し、ポンプの作動により製品が容器から分与器の出口に進められる。

30

【０００３】

カウンタートップ取り付け型の分与器も、分与器の一般的な形態であるが、壁取り付け型の分与器とは構造的に区別される。これらの分与器は、カウンタートップの上方に位置決めされた分与器の出口を包含し、この出口はカウンタートップの下方に位置決めされている容器（分与される製品を収容している）と関連させられる。ポンプは、カウンタートップの上方の出口及びカウンタートップの下方の容器の双方に関連させられ、ポンプの作動により製品が容器から分与器の出口へ進められる。

40

【０００４】

壁取り付け型の分与器は、典型的に、分与器の操作に必要な部品の全て（ポンプ、製品及び出口を含む）を分与器ハウジング内に収容している。一方、カウンタートップ取り付け型の分与器における部品は、カウンタートップによって物理的に分けられており、いくつかの部品はカウンタートップの上方にあり、またいくつかの部品はカウンタートップの下方にある。壁取り付け型の分与器とカウンタートップ取り付け型の分与器との別の違いは、壁取り付け型の分与器の容器が、カウンタートップ取り付け型の分与器とともに使用

50

されている詰め替えユニットの一部分である容器とは一般的に似ていないことである。より詳細には、壁取り付け型の分与器は、ハウジング内に画定されている容積と一致する使い捨ての柔軟な容器を使用することが多いが、カウンタートップ取り付け型の分与器は、典型的に、再充填可能な硬質プラスチック容器を有する。更に、壁取り付け型の分与器内の容器は、典型的に、カウンタートップ取り付け型の分与器の容積よりも容積が少ない。したがって、詰め替えユニットは分与器の各型式で区別されており、壁取り付け型の分与器及びカウンタートップ取り付け型の分与器の双方を使用することを選ぶ購入者は、それぞれの型式の分与器用に別々の違った詰め替えユニットを購入しなければならない。

【0005】

分与される製品の容器を提供する詰め替えユニットを受け入れる分与器、及び製品を分与するポンプについて述べたけれども、従来技術にはまたバルク充填型の分与器があることを認識すべきであり、このバルク充填型の分与器においては、容器及びポンプ機構が分与器の部品として保持され、容器は空になった時に製品のバルク補給で再充填される。壁取り付け型の分与器又はカウンタートップ取り付け型の分与器が、バルク充填型の分与器に形成されるか、又は詰め替えユニットを受け入れる型式であるかに関わらず、これらの2つの型式の分与器は従来技術では全く異なる構造によって提供されていることを認識すべきである。すなわち、本発明者は、分与器を設置する存在物によって望まれるように、カウンタートップ取り付けの配向又は壁取り付けの配向のいずれかで選択的に取り付けるのに適した、特定の分与器を知っていない。

【0006】

したがって、分与器技術では、応用自在に向きを変えて取り付けることができ、分与器の使用を提供する存在物の要望にしたがって、壁取り付け型の分与器及びカウンタートップ取り付け型の分与器のいずれかに使用できる分与器の必要が存在する。この必要は、バルク充填型の分与器及び詰め替えユニットを受け入れるように設計されている分与器の双方に存在する。詰め替えユニットを採用する分与器では、壁取り付け型の分与器又はカウンタートップ取り付け型の分与器としての使用にかかわらず、同じ大きさ及び型式の詰め替えユニットを収容する分与器の必要も存在する。

【発明の概要】

【0007】

一実施形態において、本発明は、ハウジング及び回転可能な分与ノズルアセンブリを包含する分与器を提供する。前記ハウジングは基部を包含し、この基部は、垂直取り付けの配向ではほぼ垂直な表面に選択的に取り付けられ、又は水平取り付け配向ではほぼ水平な表面に選択的に取り付けられる。また、前記ハウジングはアンダーカットを画定するように形成されている。前記回転可能な分与ノズルアセンブリは、前記アンダーカットのところで前記ハウジングに取り付けられ、かつ水平取り付けの配向と関連付けられる第1の位置と垂直取り付けの配向と関連付けられる第2の位置との間で選択的に回転される。前記第1の位置では、前記分与ノズルがほぼ水平な表面に向けて製品を分与するように向けられ、前記アンダーカットが前記分与ノズルと前記ほぼ水平な表面との間に少なくとも指を受け入れるのに十分な指受け入れ区域を提供する。他の実施形態では、前記基部が垂直取り付け配向で取り付けられ、前記回転可能な分与ノズルアセンブリが前記第2の位置に回転させられたときに、前記分与ノズルが製品を前記ハウジングの下方に分与するように位置決めされる。

【0008】

本発明の更に他の実施形態によれば、前記ハウジングは、前カバー及び後カバーと、前記前カバー及び前記後カバーによって画定されている前面及び後面とを包含する。前記前カバーは前面及び底面を包含し、また前記後カバーは上面及び底面を包含する。前記前カバーの前記前面と前記後カバーの前記上面とが当接して前記ハウジングの前記前面を形成すると共に、前記前カバーの前記底面と前記後カバーの前記底面とが当接して前記ハウジングの前記後面を形成する。前記ハウジングの前記後面は前記アンダーカットを形成する。前記ノズルアセンブリは、前記ハウジングの前記前面と前記後面の交差部の近くに位置

決めされている。

【0009】

一以上の実施形態では、前記ハウジングはともにフィン形状を形成する前面及び背面を包含する。

【0010】

本発明のこれら及び他の特徴及び利点は、以下の説明、添付の特許請求の範囲及び添付の図面を参照することによってよりよく理解されるであろう。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の概念にしたがって構成した分与器がカウンタートップに取り付けられている状態を示す斜視図である。 10

【図2】図1の分与器が壁に取り付けられている状態を示す斜視図である。

【図3】分与器の側面図であり、ハウジングがほぼフィンのような形状であることを示している。

【図4】分与器の一部分の分解図であり、回転可能な分与ノズルアセンブリを包含するハウジング内に配置される部品の幾つかを示し、これらの部品には回転可能な分与ノズルアセンブリが含まれる。

【図4A】分与器の一部分の斜視図であり、分与ノズルアセンブリの固定ハウジングを示している。

【図5A-5B】回転可能な分与ノズルアセンブリの側面図であり、分与ノズルの2つの可能な位置を示している。 20

【図6】分与器ハウジングの他の形状の概略側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

図面を参照するに、本発明の概念にしたがって構成した分与器は、符号10により総括的に示されている。図1に示されるように、分与器10はカウンタートップ（又は他の平坦なほぼ水平な表面）120に取り付けられるし、又は、図2に示されるように、分与器10は壁（又は他の平坦なほぼ垂直な表面）130に取り付けられる。

【0013】

分与器10は、前カバー14及び後カバー16を有するハウジング12を包含する。容積がハウジング12内に画定され、この容積には以下の説明を含む、当技術分野で知られている方法にしたがってアクセスすることができる。前カバー14は、前面18、両側面20及び底面22を包含する。前カバー14は任意に透明な窓24を包含することができ、これにより、使用者はハウジング12内に画定されている容積内を見ることができる。 30

【0014】

後カバー16は、上面26、両側面28及び底面30を包含する。図中に見られるように、前カバー14の前面18はほぼ湾曲され、これにより、前面18は後カバー16の上面26と当接するように移行して、ほぼ滑らかで連続的な外面を形成する。同様に、前カバー14の両側面20は後カバー16の両側面28と当接し、また前カバー14の底面22は後カバー16の底面30と当接する。前カバー14と後カバー16との種々の面の当接は、ハウジング12が当接区域の近傍においてほぼ連続的な面を有することをもたらす。後カバー16は分与器10を取り付け面に取り付けるための構造を有する後板（図示せず）を包含することができる。後カバー16は、上面26、両側面28及び底面30によって画定されてほぼ平坦である周縁32を包含し、これにより、分与器10が平坦な取り付け面に平坦に載置される。分与器10は、当技術分野においてよく知られている構造及び方法を用いて取り付け面に取り付けることができる。 40

【0015】

前カバー14及び後カバー16は、分与器技術においてよく知られている方法及び構造を用いて互いに取り外し可能に連結することができる。クラムシェル構造が分与器技術ではよく知られており、分与器10での使用に適している。このようなクラムシェル構造に 50

において、前カバー 14 は後カバー 16 に枢動可能に連結され、ハウジング 12 により画定されている容積にアクセスするために、使用者は容易に前カバー 14 を枢動して後カバー 16 との接触を解く。勿論、前カバー 14 と後カバー 16 とを連結する他の構造も使用することができる。

【0016】

図 3 を参照するに、分与器 10 のハウジング 12 の特定の形状が側方から見るとほぼフィンの形状であることを見ることができる。この形状は、湾曲した背びれ（魚にあるような）と似ていると認められるだろう。このようなフィン形状において、前カバー 14 の前面 18 及び後カバー 16 の上面 26 は、フィン形状の湾曲した前面 34 を画定している。前カバー 14 の底面 22 及び後カバー 16 の底面 30 は、フィン形状の湾曲した後面 36 を画定している。勿論、前面 34 及び後面 36 はほぼ滑らかに連続して湾曲しているが、分与器の形状にほぼフィンの形状を与えて前面及び後面を画定する他の構造でもよい。例えば、フィン形状は、2 つ以上のほぼ平面な部分で画定することもできる。

【0017】

フィン形状がハウジング 12 のために開示されてきたが、勿論、これは単に審美的に好ましく受け入れられる実施形態であり、他の形状を実施することもできる。本明細書においてより明らかにされるように、フィン形状の重要性は、そのアンダーカット 44 を形成することに関係している。したがって、本発明及び本明細書においてわかる概念にしたがって、本明細書において説明されるように、形成して好ましいアンダーカット 44 を画定する他のハウジングの形状を採用することができる。例えば、図 6 に示すように、角張った構造がブロック状のハウジング 12' を画定し、レッジ 37 において回転可能な分与ノズル 38 を担持するアンダーカット 44 を画定している。勿論、湾曲した後面 36 をほぼ平面的な面として形成し、鈍角でその基部からアンダーカットを延在させることによって、その面の下にアンダーカットを形成することもできる。

【0018】

回転可能な分与ノズルアセンブリ 38 は、アンダーカット 44 のところでハウジング 12 に取り付けられている。図 1 ～図 5 の本実施形態では、分与ノズルアセンブリ 38 はフィン形状のほぼ頂部に位置決めされており、おおよそこの頂部で前面 34 が後面 36 と当接する。側方から見ると、後カバー 16 は周縁 32 に沿って第 1 の端 40 と第 2 の端 42 との間を長手方向に延在している。第 1 の端 40 は周縁 32 において第 1 の端 40 が上面 26 と交わる部分の近くに位置しており、また第 2 の端 42 は周縁 32 において第 2 の端 42 が底面 30 と交わる部分の近くに位置している。図 6 に示す実施形態においては、回転可能な分与ノズルアセンブリ 38 は、レッジ 37、特にその先端に位置決めされることによってアンダーカット 44 のところでハウジングに取り付けられていることがわかる。

【0019】

後面 36 は、長手方向と、図 3 に示す分与器 10 の長手方向に直交する方向（以下、「直交方向」と称し、図 3 に示す配置において長手方向にほぼ直角である）との両方向において第 2 の端 42 から離間して円弧を描いている。したがって、ノズルアセンブリ 38 は、第 2 の端 42 を越えてより長手方向に位置決めされていると共に、第 2 の端 42 から直交方向に離間されている。より詳細には、ノズルアセンブリ 38 の中心は第 2 の端 42 からそれぞれ長手方向に距離 d_1 及び直交方向に距離 d_2 で位置決めされる。したがって、ノズルアセンブリ 38 は、分与器 10 の大部分の他の部分を越えて長手方向にかつ周縁 32 によって画定されている設置区域の外側に位置決めされる。ほぼ凹んだアンダーカット 44 は、これにより、ノズルアセンブリ 38 及び後面 36 の円弧によって画定されている。アンダーカット 44 は、図 1 に示されるように、分与器 10 がほぼ水平の配向で取り付けられたときには、分与ノズル 56 とカウンタートップ 120 との間に少なくとも指を受け入れるのに十分な指受け入れ区域を提供する。指又は手を分与ノズル 56 とカウンタートップ 120 との間に置くことによって、使用者は分与器 10 から分与された所定量の製品を受けることができる。好ましい実施形態において、距離 d_1 は約 3.175 cm（約 1.25 インチ）であり、また距離 d_2 は約 8.89 cm（約 3.5 インチ）である。勿論、分与区域

と分与ノズル 56 との間に画定されて、少なくとも使用者の指及び／又は手の部分を受け入れるのを可能とするような距離が選ばれる限りにおいて、距離 d_1 及び距離 d_2 は特定の応用の要求に基づいて変更することができる。

【0020】

図 1－図 3 に最も良く見られるように、回転可能な分与ノズルアセンブリ 38 は、ほぼ円筒形の形状の固定ハウジング 50 を包含し、この固定ハウジング 50 内においてアセンブリ 38 の多くの他の部品が回転する。また、図 4 を参照するに、アセンブリ 38 は、ピボット 52、ピボット止め 54 及び分与ノズル 56 を包含する。

【0021】

図 4、図 5 A 及び図 5 B を参照するに、ピボット 52 はほぼチューブの形状とされ、また 2 つの周壁部分、すなわち、第 1 の周壁部分 58 及び第 2 の周壁部分 60 を包含する。第 1 の周壁部分 58 は、第 1 の端 62 から第 2 の端 64 にまで延在し、また放射状の外表面 66 を包含する。突起 68 が、第 1 の端 62 と第 2 の端 64 との間の放射状の外表面 66 から延在している。また、第 1 の端 62 の近くに位置決めされたクリップ 70 が、外表面 66 から第 1 の端 62 を越えて周方向に延在している先端にまで延在している。第 2 の周壁部分 60 は、第 1 の端 72 から第 2 の端 74 にまで延在している。ノズル担持プラットフォーム 76 が、第 1 の端 72 の近くの第 2 の周壁部分 60 から半径方向内向きに延在している。後壁 78 は、第 1 の端 72 とは反対側のプラットフォーム 76 の端の近くでプラットフォーム 76 からほぼ垂直に延在している。また、レッジ 80 がプラットフォーム 76 とは反対側の後壁 78 の端からほぼ垂直に延在している。ノズル担持プラットフォーム 76 は、ノズル 56 に設けられて補形し合う形状のリムを収容するために、後壁 78 に近接する凹んだ軸方向溝 82 を包含することができる。第 1 の開口空間 84 が、周壁部分 58、60 の第 1 の端 62、72 の間におけるピボット 52 の円周内に画定されている。また、第 2 の開口空間 86 が、周壁部分 58、60 の第 2 端 64、74 の間に画定されている。ピボット 52 は、図示の実施形態においては中央に配置されている軸のまわりを回転する。

【0022】

ピボット止め 54 も、ほぼチューブの形状とされていると共に、周壁部分 88 を包含する。この周壁部分 88 は、第 1 の端 90 から第 2 の端 92 にまでピボット止め 54 の円周の一部分を延在している。ピボット止め 54 は、回転しない。

【0023】

分与ノズル 56 は、分与技術において知られ又は開発されている任意適当なノズルであってよく、周壁部分 58、60 の第 1 の端 62、72 間の第 1 の開口空間 84 内に位置決めされる。より詳細には、ノズル 56 は、ノズル担持プラットフォーム 76 の上に位置決めされ、クリップ 70 によって所定位置に保持される。導管 94 が、その一端でノズル 56 に及びその他端でポンプ又は分与される製品の入った容器（図示せず）に連通される。導管 94 は、フレキシブルであり、ポンプから分与される所定量の製品を供給するように設計されている。導管 94 は、ノズル 56 から、ピボット止め 54 の周壁部分 88 を迂回し、周壁部分 58、60 における第 2 の端 64、74 間に画定されている第 2 の開口空間 86 を通してノズルアセンブリ 38 の外に延在する。

【0024】

ノズル 56 は、導管 94 を通して、分与の技術分野において知られている方法及び構造にしたがって、分与器 10 によって分与される製品の源と流体連通している。典型的な構造では、製品のフレキシブルな容器は、ハウジング内に画定されている容積内に位置決めされ、またポンプと連通され、更に分与ノズルと連通される。バルク充填型の分与器では、ハウジングはバルク製品を受け入れるための区域を画定し、ポンプはこの区域と連通して分与ノズルに製品を進める。詰め替えユニットを採用する分与器では、製品の容器及びポンプはハウジング内に受け入れる 1 つのユニットとして提供される。詰め替えユニットは導管 94 及び分与ノズルを包含することができ、これらの導管及び分与ノズルが分与器内に取り付けられた状態で、分与ノズルが回転可能な分与ノズルアセンブリ 38 と係合さ

10

20

30

40

50

せられる。幾つかの実施形態においては、特定の詰め替え容器が空になったときに、ぬれた部品の全てが捨てられて取り替えられるような詰め替えユニットを提供することが好ましいかもしれない。このような構造は分与器 10 には適当であるが、他の可能な構造も用いることができる。ポンプは既知のいかなる手段でも作動させることができ、ポンプの作動は容器から分与ノズル 56 に向かって所定量の製品を進める。適当なポンプを特定の応用のために選ぶことができ、適当なポンプの選択は当業者が行うことができる。1 以上の実施形態では、蠕動ポンプが適当であり、容器と分与ノズルとの間における導管の部分に設けて作動させることにより、前記導管を通して製品の一部分をノズルに向けて進めることができる。しばしば、蠕動ポンプ内において、ローラが分与管を通過して分与管をしばり、製品を分与ノズルに進める。

10

【0025】

図 4 A を参照するに、固定ハウジング 50 は周方向に延在するスロット 100 を包含する。このスロット 100 は、第 1 の端 102 から第 2 の端 104 にまで延在すると共に、肩部 110 で幅狭部 106 から幅広部 108 へと開口する。特に図 1 - 図 3 を参照するに、突起 68 が幅狭部 106 内でスロット 100 を通して延在し、またノズル 56 が幅広部 108 内でスロット 100 を通して延在している。

【0026】

ピボット 52 はノズル 56 の位置を変えるために固定ハウジング 50 内で動かすことができ、これにより、所定量の製品が分与ノズルの出口 57 でどこに分与されるかを決定する。図 5 A 及び 5 B を参照するに、2 つの可能な分与位置が示されている。図 5 A では、ピボット 52 は時計回りに最大可能距離に回転されている。この位置では、突起 68 はスロット 100 の第 1 の端 102 に接触している。また、第 2 の周壁部分 60 のレッジ 80 がピボット止め 54 の第 2 の端 92 に接触している（図 4 参照）。このような分与位置は、例えば、分与器 10 が壁に取り付けられているときに有用であろう。図 2 では、分与器 10 が壁 130 に取り付けられている状態が示されている。ピボット 52 は図 5 A の位置に示されており、ノズル 56 の出口 57 は、製品が分与器 10 の下方にほぼ下向きにかつ壁 130 から離れて分与されるようにしている。このような配置では、使用者は、壁に対して実質的に平行に流れて分与されている製品の流れて、分与器 10 の下で直接所定量の製品を受ける。使用者は、出口 57 から分与された製品を受けるために分与ノズルの下に手を置けばよい。勿論、使用者は、手をアンダーカット 44 の下にも置きそうにもなるが、それはいくつかの配置には必要ないかもしれない。ピボット 52 が時計回り方向に動かされ得る最大可能距離は、スロット 100 の第 1 の端 102 の位置であって、この位置を越えて突起 68 が動くことができない位置を調整するか、又はピボット止め 54 の第 2 の端 92 の位置であって、レッジ 80 に接触する位置を調整することによって、制限することができる。

20

30

【0027】

図 5 B において、ピボット 52 は反時計回りの方向（図 5 A 及び図 5 B に示す分与器の側方から見て）に最大可能距離回転させられる。この位置では、ノズル 56 はスロット 100 の第 2 端 104 に接触している。また、第 2 の周壁部分 60 のノズル担持プラットフォーム 76 はピボット止め 54 の第 1 の端 90 に接触している（図 4 参照）。このような分与位置は、例えば、分与器 10 がカウンタートップに取り付けられているときに有用であろう。図 1 では、分与器 10 がカウンタートップ 120 上に取り付けられている状態が示されている。ピボット 52 は図 5 B の位置に示されており、ノズル 56 の出口 57 は、製品がほぼ下に分与されて、ノズルアセンブリ 38 とカウンタートップ 120 との間にある指及び／又は手の上に分与されるようにしている。このような配置では、使用者は、その手のかなりの部分が分与ノズル 56 の出口 57 の下になるように、指をアンダーカット 44 の中に置き、ノズルアセンブリ 38 の下かつアセンブリ 38 とカウンタートップとの間で所定量の製品を受け、製品の流れがカウンタートップに向かって分与される可能性が高いだろう。ピボット 52 が反時計回り方向に動かされ得る最大可能距離は、スロット 100 の第 2 の端 104 の位置であって、この位置を越えてノズル 56 が動くことができな

40

50

い位置を調整するか、又はノズル担持プラットフォーム76が接触するピボット止め54の第1の端90の位置を調整することによって、制限することができる。

【0028】

勿論、ピボット52は図5A及び図5Bに示す2つの位置の間の任意の位置にも動かすことができる。そして、スロット100及びピボット止め54の双方の機能は、ピボット52の回転動作を規制するために用いることができるので、2つの構造のいずれか一方が動作規制の機能として十分であれば、スロット及びピボット止めの双方を動作規制の機能として用いないいくつかの実施形態も考えることができる。更に、ピボット52の動作は、ピボットを所定位置に簡単に動かせることができれば、戻り止め、ノッチ又は他の構造によって特徴付けることもできる。

10

【0029】

本発明の概念にしたがって構成した分与器は、いくつかの任意の機能を含むこともできる。モーションセンサといった使用者感知デバイスが、ポンプを作動させる電気的手段とともに、分与器10に組み込まれ、分与器10の操作を自動化することもできる。このような感知デバイスならびにそれらの使用及び分与器への組み込み方法は、当技術分野においてよく知られている。例えば、感知デバイスが底面22又は30の近く又はそれらから突き出るように分与器10に組み込まれ、使用者の手が分与区域44に入ると感知する。このような感知デバイスは、壁取り付けの配向又はカウンタートップ取り付けの配向のいずれにおいても操作でき、所定量の製品を分与区域44内に分与させる部品と関連させることができる。

20

【0030】

また、方向感知デバイスが、ピボット52の位置を変える電気的手段とともに、分与器10に組み込まれ、方向感知デバイスが、分与器10が壁又はカウンタートップのどちらに取り付けられるかによって、ピボット52の位置を変えるようにすることができる。このような方向感知デバイスは、当業者にとって明らかである構造及び技術にしたがって、ピボット52の位置を変える電気的手段と組み合わせることができる。

【0031】

以上述べたように、本発明の概念にしたがって構成した分与器は、ほぼ水平の配向及びほぼ垂直の配向のどちらかの配向で取り付けられることが可能であるようにされている。このことに関して、本発明の分与器は、水平配向（カウンタートップ取り付けの配向）及び垂直配向（壁取り付けの配向）を含む多くの配向で取り付けられることは明らかである。回転可能な分与ノズルアセンブリは、複数の取り付け位置を手助けする。分与される製品が、適当な方向に向けられるからである。また、分与器に使用される詰め替えユニットの型式は、分与器が取り付けられている方向に依存しないので、分与器の取り付け配向を気にせずに同じ型式の詰め替えユニットを使用することができる。分与器の形状と分与器が隣接する構造物（壁又はカウンタートップに限らない）との間に画定する区域が、使用者が石鹸といった分与される所定量の製品を受けるための分与区域を提供するため、分与器のフィン形状及び分与ノズルアセンブリの位置も、複数の取り付け位置を手助けする。本明細書において開示した構造を有することによって、分与器は、分与器の後部（又は底部）によって画定されている設置区域の外側に分与区域を画定することができる。

30

40

【0032】

以上述べたように、本発明の概念にしたがって構成した分与器は、壁取り付け及びカウンタートップ取り付けへの応用に簡単に適合され、従来技術の形式に優るいくつかの利点を提供する。分与器の購入者は、壁取り付け及びカウンタートップ取り付けを選択しなくてもよい。本発明は双方の目的に使用できるからである。わずかに単一様式の分与器のみを購入すれば、分与器の購入者は詰め替え容器といった関連する備品も単一様式の型式を購入すれば十分だろう。

【0033】

以上述べたように、本発明の目的は上述の使用のための構造及びその方法によって達成されていることがわかるであろう。特許法にしたがい、最適な実施例及び好ましい実施形

50

態を詳細に記載し説明してきたが、本発明はこれらに又はこれらによって限定されないことを理解すべきである。したがって、本発明の真の範囲及び広さの理解には、特許請求の範囲の記載が参照されなければならない。

【図 1】

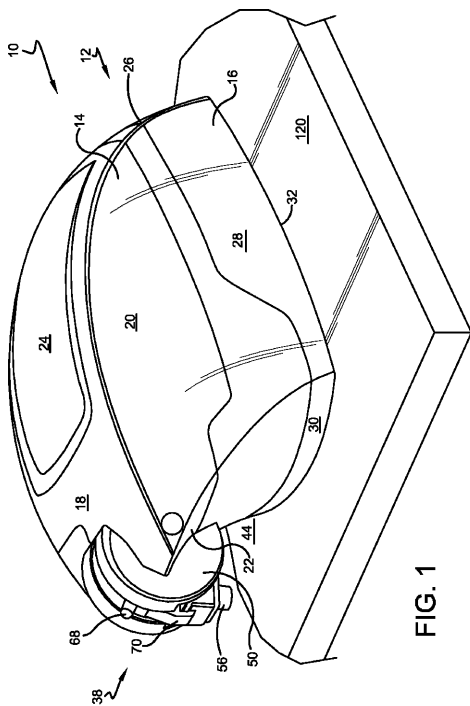


FIG. 1

【図 2】

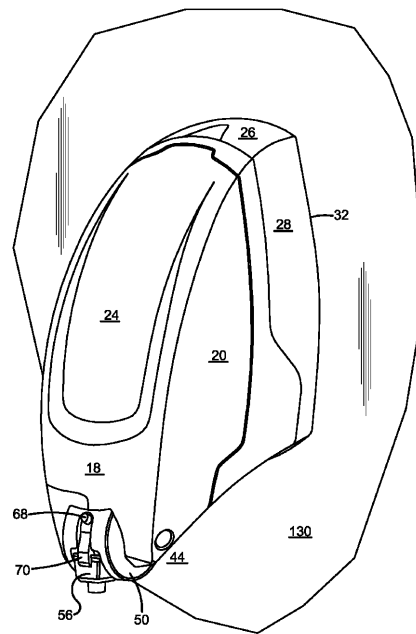


FIG. 2

【図 3】

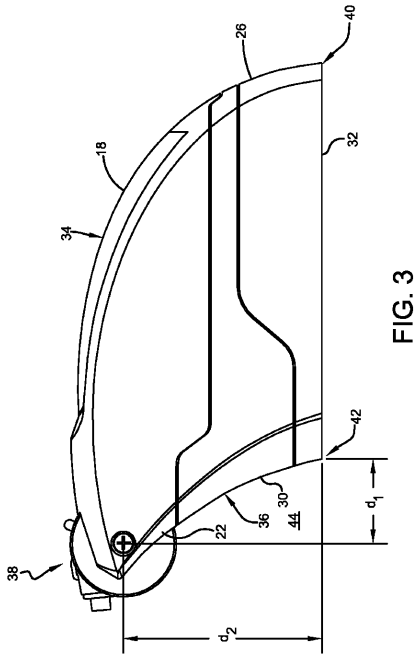


FIG. 3

【図 4】

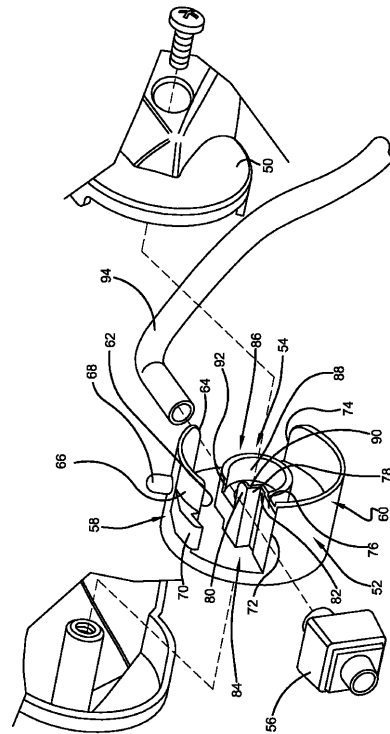


FIG. 4

【図 4 A】

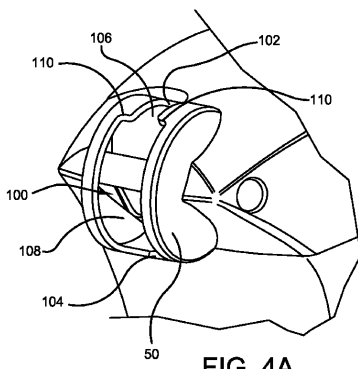


FIG. 4A

【図 5 B】

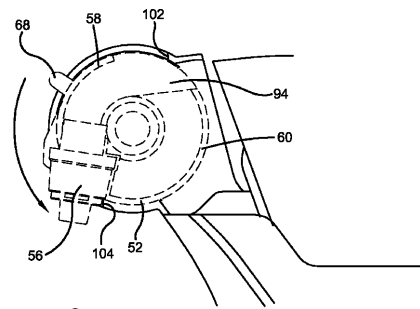


FIG. 5B

【図 6】

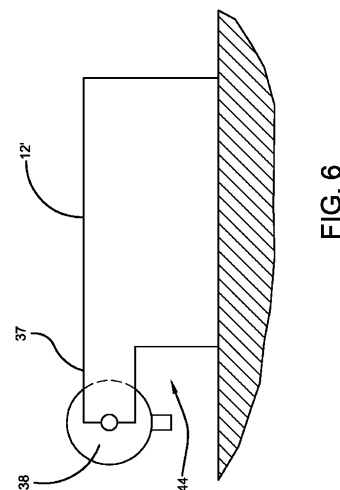


FIG. 6

【図 5 A】

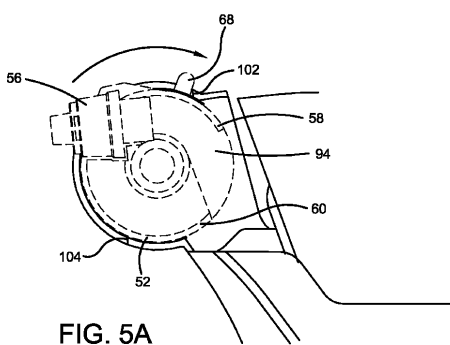


FIG. 5A

【国際調査報告】

61400060010



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

 International application No
PCT/US2012/029047

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER INV. A47K5/12 A45D34/00 B05B15/06 ADD.		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A47K A45D B05B B65D		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) EPO-Internal, WPI Data		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	EP 0 956 802 A2 (TURK MARC TIMOTHY [ZA]) 17 November 1999 (1999-11-17) paragraph [0005] - paragraph [0009]; figure	1-7, 14-19
X	US 4 905 873 A (LOESEL JR JOHN L [US] ET AL) 6 March 1990 (1990-03-06) the whole document	14-19
A		1-13
X	US 2 316 307 A (HERRING YOUNG) 13 April 1943 (1943-04-13) page 1, column 2, line 36 - page 2, column 1, line 7; figures	14, 15, 17-19
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents : "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report
10 October 2013		16/10/2013
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Van Bost, Sonia 05.2.2014

2

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/US2012/029047

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
EP 0956802	A2	17-11-1999	NONE
US 4905873	A	06-03-1990	NONE
US 2316307	A	13-04-1943	NONE

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN

Fターム(参考) 3E062 AA20 AB01 AC02 KA01 KA09 KB05
4D073 BB03 CB12 CB23